

大分県漁業協同組合 日出支店

～令和7年10月23日(木) 訪問～ 【日出町】



大分県漁業協同組合日出支店は、日出町特産の城下かれい(マコガレイ)の資源増に向け、中間育成施設の活用やアマモ場造成による稚魚の育成、海底耕うんによる漁場機能の回復など「育てる漁業」に取り組んでいます。また、管内の大神漁港では、仲買人が競り落とした鮮魚をその場で一般客が購入できる朝市や、別府湾を漁師が案内する漁船クルーズなど、観光と連携した「海業」による地域のにぎわい創出にも取り組んでいます。

懇談では、約30年前と比べて組合員数や漁獲高が大きく減少していることを踏まえ、伊勢えびなどの新魚種への対応や、地元の観光協会と連携した県外からの修学旅行の受入れなど、安定した収入を確保するための取組について伺いました。また、魚のさばき方教室などの体験型コンテンツを充実させることの重要性について意見交換を行いました。

これまでの団体の積極的な取組に敬意を表するとともに、今後も観光と漁業の両輪で進める地域活性化の取組に対し、県も引き続き応援していきたいとお伝えしました。



関連分野における県の施策 (令和8年度)

☆事業名：地域未来創造総合補助金

事業概要：人口減少が急速に進む中、魅力ある地域を未来へ継承するため、地域住民等が行う魅力ある地域づくりや特色ある取組を支援

予算額：5億円

☆事業名：基幹魚種資源造成促進事業

事業概要：ニーズの高い基幹魚種の水産資源を増大させるため、海域特性を踏まえた集中的な種苗放流等を実施

予算額：8,303万円

☆事業名：環境変化対応型栽培漁業推進事業

事業概要：高水温化等の環境変化に対応した効果的な資源造成を行うため、新たな手法を用いた種苗放流を推進するとともに、暖海性魚種キジハタの種苗生産体制の確立

予算額：4,027万円

☆事業名：漁港利活用推進事業

事業概要：「海業」振興による漁村の活性化を図るため、漁港の新たな利活用に向けて、行政(県、市町村)・漁業関係者・専門家等による検討会を実施するとともに、早期の事業実施に向けた事業者への支援を行う

予算額：1,157万円